

1. 事業方針

- (1) 人口減少・少子高齢化、住民生活の多様化などにより、住民が抱える生活課題も複雑・多様化する中で、公的サービスだけでは対応しきれないほど様々な問題が広がりを見せている。

特に、団塊の世代が75歳以上となる令和7年や更には団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むためにも、国が掲げる地域住民の参画と協働により、誰もが支え合う共生社会を目指す必要があり、そのためにも、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる地域共生社会の実現に向け、本会では生活支援コーディネーター事業や有償ボランティア活動、ふれあいネットワーク活動に取り組んでいるが、引き続きその充実を図り、支援が必要な高齢者等が住み慣れたまちで生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を目指し、関係機関と連携のもと推進して参ります。

- (2) 高齢や障がいにより日常生活の判断に不安がある方を対象に行っている日常生活自立支援事業は、毎年数件の新規相談があり、また利用者数も横ばい状況であります。しかしながら、まだまだ潜在する要援護者や準要援護者は多くいるものと推測され、今後、利用者が増加することも見込まれますので、支援員の確保を図るなど適正に実施できるよう努めて参ります。

- (3) 有償ボランティア活動は、公的なサービスでは対応できない除雪や草刈り、ごみ出し、外出支援など日常生活上の困りごとに対し幅広い支援活動を実施し多くの利用者に喜ばれております。

その活動は広く認知されておりますが、協力会員の確保、増強が課題であります。

これまでの地道な周知活動により新規協力会員も数名あり一定の効果はあったものの充足されてはいることから、今後も町広報誌や防災無線、口コミでの声かけ等、地道な周知活動を継続するとともにボランティア団体との連携を図り、無理なく幅広い支援活動に対応できる体制づくりに努めて参ります。

- (4) 一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯の増加等に伴い、全国的にも孤立死や消費者被害、詐欺、虐待、老老介護を背景とする痛ましい事件等も後を絶たず問題となっております。

これらを未然に防止あるいは早期に発見し問題解決につなげるためには、普段からの関わりによる気づきが重要であります。

そのため、これまで同様、町内会等の小地域を基盤として見守り活動や援助活動などが提供できる体制（ふれあいネットワーク活動）づくりを引き続き推進し、高齢者や障がいを持つ方などが安心して暮らしていける地域づくりを目指して参ります。

- (5) 介護保険事業については、令和6年度の法改正が行われ、他サービスの基本報酬が引き上げられる一方、もともと報酬単位の小さい訪問介護のみ基本報酬が下げられた結果となっております。

また、全国的に介護人材の不足が深刻化しているなか、当事業所においてもホームヘルパーが不足しており、今までどおりの支援体制では必要とするサービスを提供することが出来ない事態となっております。そこで、サービスの供給不足を招く大きな要因となっている通院介護の在り方について見直し、新たに「通院等乗降介助」を導入し5月より移行することといたします。

岩内町社協が実施する訪問介護事業所は町内において主軸事業所であり、高齢で介護が必要な状態になっても在宅で安心して生活するためには必要不可欠なものであります。基本報酬の引き下げや、人員不足に伴う減収が見込まれ、厳しい状況ではありますが、適正な人事労務管理に努めるとともに、新規人材の確保等、サービス需要に対応できる体制づくりと収入増に努めて参ります。

なお、介護人材の不足が近年の大きな課題であり、人材の流出防止や新たな人材の確保を図るためにも、処遇の向上を図ることが必要不可欠であることから、本年度より各事業における中核を担う職種については更なる改善を図り、安定して事業が継続できるよう努めて参ります。

- (6) 在宅サービスを提供する者として利用者個々の相違を的確に見極め、適切な支援ができるよう努めるとともに、町をはじめ福祉関係機関等との連携を密にし、問題の早期発見、ニーズの明確化に努め、効果的な事業運営を推進して参ります。

- (7) 会計業務については、内部監査や外部監査の実施により今後も継続的に適正に実施されるよう努めて参ります。

- (8) 社協の広報活動については、社協だよりの発行とともに、ホームページ等により事業活動のお知らせなど随時、効果的に発信し周知活動に努めて参ります。
- (9) 今日の厳しい社会、経済状況を反映して、社協会費や寄附金なども減少傾向にありますが、出来る限り自己財源の確保に努めるとともに、職員の資質向上に向けて積極的に研修会等へ参加し、社協基盤の充実強化を図り、各種事業が円滑に運営出来るよう努力して参ります。